

「予定」 令和5年度 入学者選抜実施内容

木曾青峰高等学校 全日制

| 番号 | 高校名 | 学科 | 募集 | 前期選抜（自己推薦型選抜） | | | | | 後期選抜（一般選抜） | | | | | | | |
|----|------|-------------|----|---------------|---|--|---|---|------------|------------------|----|----|----------|----------|----------|---|
| | | | | 募集 枠% | 募集の観点 | 志願理由書(自己PR文) | 面接 | 作文(小論文) | 実技検査 | 志願理由書 (自己PR文) | 面接 | 作文 | 実技 検査 | 傾斜 配点 | 第2 志望 | |
| 72 | 木曾青峰 | 普通 | 1 | | | | | | | | | | | | | ○ |
| | | 農業 森林環境 | 1 | 50 | 中学校において、森林環境科における専門教育を修得するための基礎学力を有し、かつ専門的技術習得にかかる演習のための基本的な生活習慣が十分に身についていると認められ、次のいずれかを満たす者。 ①森林環境科の学習内容に興味・関心があり目的意識が明確である者。 ②生徒会活動、部活動等において中心的な役割を果たしてきており、高校入学後も、その活動を継続することを希望している者。 | 志望動機、入学後に学びたいことや活動したいこと、将来の希望、中学校での生徒会活動、部活動、その他の諸活動など（ボランティア活動、資格取得等）の成果・実績・状況等を本校所定の用紙に記入する。 | 志望動機、学習意欲、中学校での状況、及び志願理由書に記入した内容等についての、複数面接官による個人面接。 〈時間〉10分程度 | 《作文》 与えられたテーマについて自らの考えを述べる。 〈時間〉50分 〈字数〉600字 | | | | | | | | ○ |
| | | 工業 インテリア | 1 | 50 | 中学校において、インテリア科における専門教育を修得するための基礎学力を有し、かつ専門的技術習得にかかる演習のための基本的な生活習慣が十分に身についていると認められ、次のいずれかを満たす者。 ①インテリア科の学習内容に興味・関心があり目的意識が明確である者。 ②生徒会活動、部活動等において中心的な役割を果たしてきており、高校入学後も、その活動を継続することを希望している者。 | 志望動機、入学後に学びたいことや活動したいこと、将来の希望、中学校での生徒会活動、部活動、その他の諸活動など（ボランティア活動、資格取得等）の成果・実績・状況等を本校所定の用紙に記入する。 | 志望動機、学習意欲、中学校での状況、及び志願理由書に記入した内容等についての、複数面接官による個人面接。 〈時間〉10分程度 | 《作文》 与えられたテーマについて自らの考えを述べる。 〈時間〉50分 〈字数〉600字 | | | | | | | | ○ |
| | | 理数 | 1 | 75 | 中学校における学習成績が優良であり、本校入学後は高い向学心を持って自らの進む道を開拓し、卒業後はさらに高度な専門性を修得するために大学進学をめざす者。 | 志望動機、入学後に学びたいことや活動したいこと、将来の希望、中学校での生徒会活動、部活動、その他の諸活動など（ボランティア活動、資格取得等）の成果・実績・状況等を本校所定の用紙に記入する。 | 志望動機、学習意欲、中学校での状況、及び志願理由書に記入した内容等についての、複数面接官による個人面接。 〈時間〉10分程度 | 《作文》 与えられたテーマについて自らの考えを述べる。 〈時間〉50分 〈字数〉600字 | | | | | | | | ○ |

- (表の見方)
- 「募集」欄は令和4年度(2022年度)入学者選抜の募集学級数です。令和5年度入学者選抜の募集学級数は11月に発表する予定です。
 - 前期選抜の募集枠%の数字は募集人員の上限を表しています。
 - 第2志望欄の○印がついている学科間においては相互に第2志望を認めます。(学校により第3志望まで認める場合があります。)
 - 傾斜配点欄は実施する教科および倍率です。
 - 再募集欄は前期選抜及び後期選抜において募集定員に満たなかった場合の実施予定内容です。
 - } はくくり募集をする学科です。
 - 空欄になっている箇所については実施しません。
 - 後期選抜ではすべての公立高等学校が学力検査を実施します(ただし、通信制課程は除きます)。
 - 小論文Aは与えられたテーマに関して一つの論文として答える形式、小論文Bは与えられたテーマに関して論理的に構成されたいくつかの設問に答える形式です。
 - 新型コロナウイルス感染症等に係る追検査の実施内容は後期選抜と同一の内容になります。